

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標の達成度	<p>教育環境の整備を通じて、ライチャウ省、コントウム省の少数民族の子どもたちが質の高い幼稚園・小学校教育を受けられるようになる。</p> <p>本事業は3期のうちの第1期目である。第1期では、3校の教室・トイレ・給水設備の建設および教室資機材支給、対象地域にある全11基幹幼稚園ならびに11基幹小学校への児童図書支給、分校を含むすべての小学校の1・2年生(計108学級)への書棚支給を通じて、教育環境を改善した。また、児童参加型授業などの教師トレーニングを実施し、第1期終了後の振り返りでは、コントウム省で約6割、ライチャウ省で約5割の教師が、以前より児童が積極的に授業に参加できるような機会を作ることになったと分析した。</p>
(2) 事業内容	<p>1. <u>幼稚園・小学校の教師の能力強化</u> (参考資料1. 教師トレーニングリスト、参考資料2. 教育専門家派遣リスト参照)</p> <p>当事業で対象とする各学校において指導者としての役割を担うコアチームメンバーを選出し、トレーニングを実施した。コアチームの主な構成員は、対象地域の教師22人、教育訓練省職員8人など。コアチームはトレーニング参加後に、各地域の学校にて他の教師を対象としたトレーニングを実施した。</p> <p>1. 1 活動計画ワークショップ(対象:幼稚園・小学校)</p> <p>2017年3月31日付で提出した中間報告のとおり、2016年11月に2日間開催し、43人が参加した。</p> <p>1. 2 教師間の学びあいトレーニング(対象:小学校)</p> <p>2017年2月にハノイおよびタイグエンでコアチーム対象のトレーニング第一回を5日間開催し、37人が参加した。また、3月に支援対象校で現地トレーニングを実施した。4月には日本人教育専門家の佐藤雅彰氏ならびに齊藤英介氏を招聘し、コントウム省でコアチーム対象のトレーニング第二回を5日間開催し、54人が参加した。トレーニングでは、公開授業をビデオカメラなどで記録し、映像や写真を使いながら、子どもの授業の理解度やその理由などについて分析・議論を行った。日本人専門家はその授業で着目すべきだった点などの考察を、様々な理論や日本の事例なども交えながら発表した。コアチームはそれまでのトレーニングで、教師間の学びあいについて基</p>

本的な理解を得ていたが、本トレーニングでは、より実践的な観察力や分析力を向上させる機会とした。

1. 3 教師間の学びあい活動地間研修(対象:小学校)

2012年から2015年まで当団体が実施した「北部・中部3省における少数民族の初等教育改善事業」において支援対象であったハザン省の小学校を、4月にライチャウ省のコアチーム27人が訪問した。同じく、クアンガイ省の小学校を、9月にコントウム省のコアチーム26人が訪問。同事業以来、定期的にも実施されてきた教師間の学びあいを見学した。少数民族の子どもの学びに関し、共通する課題も多くある中、先行事例から学びを得ることができた。教師間の学びあいの運営方法、授業を振り返る際の議事進行法などを学んだ。

1. 4 児童参加型授業トレーニング(対象:小学校)

コアチーム対象のトレーニングを2016年11月から12月にかけて実施した。その後、各校の教師全員を対象とした実地トレーニングを、コントウム省で3月、ライチャウ省で4月に実施した。同トレーニングでは、ペア学習などを通じ、子どもたちが自発的に授業に参加するための手法を推奨し、教師間の学びあいの重要な基礎にもなっている。教師間の学びあいのモデル校4校では、授業の考察と議論の手法が強化されていることも相まって、児童参加型授業手法も非モデル校に比べ積極的に導入されている。

1. 5 ベトナム語教育トレーニング(対象:幼稚園、小学校)

第2言語としてのベトナム語教育に関する教師の指導能力向上を目的としたトレーニングを、7月にハノイで実施し、幼稚園および小学校の教師からなるコアチーム35人が対象2省から参加した。対象校では日頃の授業において基本的に少数民族の言葉は使わず、ベトナム語でのみ話す教師が多い。しかし同トレーニングではボディラングージ、実物・写真・絵などの視覚教材、寓話、時として少数民族言語を用いることが、子どもたちの学習理解を促すために効果的と推奨された。その後8月から9月までに各校で現地トレーニングが実施され、これらの手法が教育現場に紹介された。事業期間終盤の実施は、申請時から予定されていたものの、トレーニングで習得した技術の導入については、第1期内で成果を上げるのに十分な時間がなかったと言える。よって第2期において、トレーニング成果が確認できる

ことが期待される。

1. 6 読書推進トレーニング(対象:小学校)

コアチーム対象のトレーニング(2017年1月にライチャウ省、3月にコントウム省で実施)を実施し、3月のコントウム省における児童対象のトレーニングには児童148人、教師28人が参加した。続いて4月にライチャウ省で開催した児童対象のトレーニングには児童100人、教師85人が参加した。各校ともこれらのトレーニングで得たノウハウやトレーニング時に策定した計画に基づき、同事業で支給した児童図書および書棚を活用して、図書室、野外図書コーナー、学級文庫、移動式文庫等、状況にあった読書スペースを設置。子どもが中心となる読書推進活動は、第2期以降に活発になっていくことが期待される。

1. 7 カリキュラム調整ワークショップ(対象:小学校)

追加で実施した(2016年12月変更報告書提出)カリキュラム調整ワークショップは、2017年8月から9月にかけてコントウム省で、9月にライチャウ省で開催した。同ワークショップでは、教育訓練省が設定した小学1・2年生対象のカリキュラムを、少数民族の環境や文化に沿った内容で指導するための方法を小学校教師および教育訓練局職員ら242人が話し合った。参加した教師からは、実際の自分の授業に取り入れられる調整案を考えることができたとの声が聞かれた。

2. 学校を支援する地域ネットワークづくり

2. 1 地域教育推進ワークショップ(対象:幼稚園、小学校)

コントウム省で2017年5月に、ライチャウ省で5月から6月にかけて、地域教育推進ワークショップを実施。幼稚園および小学校の教師、保護者、地域のリーダーなど、のべ497人が参加した。幼稚園入園から小学1年生に進学するまで、幼児教育と初等教育が連携して子どもの発達によりふさわしい環境を形成していくため、各関係者が担うべき役割などを話し合った。

3. 子どもにやさしい教育環境の整備

3. 1 教室建設および教室備品の支給(対象:幼稚園、小学校)

2017年6月、コントウム省コンブロン郡ダクウイバイ幼稚園・小学校

	<p>で2教室(2月着工)が、7月にライチャウ省スオイスートン小学校で3教室(3月着工)が、8月にライチャウ省シンホー郡ナムカン幼稚園(2月着工)で2教室が完成した。ライチャウでは工期終盤で雨が続いたため、外壁を塗装するタイミングが遅れ、結果的に完成時期が予定より遅れた。全3校とも、教室備品は教室完成時に支給した。</p> <p>3. 2 衛生・給水設備の設置(対象:幼稚園、小学校) 3. 1の対象校3校において、男女別トイレと給水設備の設置が教室完成時まで完了した。</p> <p>3. 3 図書および書棚の支給(対象:幼稚園、小学校) 2017年1月から9月までに、対象2省の計9コミュニティの全小学校および幼稚園にて児童用図書を支給し、分校を含むすべての対象校の1・2年生用の教室(108教室)に書棚を提供した。 また、支給した図書の有効活用、読書推進トレーニングで策定した図書スペースの設置計画を実現するため、屋内図書室および屋外図書スペースに要する備品を、対象基幹校11校中10校(すでに図書室を有していたライチャウ省ランモー小学校を除く)に支給した(2017年7月24日変更申請提出、2017年8月7日承認)。</p>
(3) 達成された成果	<p>直接裨益者数:6,047人(対象9コミュニティの幼稚園・小学校に通う子ども、幼稚園・小学校教師、教育訓練局職員、教育推進委員会に参加する保護者を含む地域住民)</p> <p>間接裨益者数:26,760人(対象9コミュニティの全人口)</p> <p>1)幼稚園・小学校の教師の能力強化</p> <ul style="list-style-type: none"> • 教師間の学びあい公開授業の実施回数:全基幹小学校において、ライチャウ省では平均7回(100%達成)、コントウム省では平均8.7回(124%達成) • 教師間の学びあいの質の向上:コアチームメンバーの50%が、授業観察の方法を改善し、子どもの学びを分析できるようになった(71%達成)。 • 基幹小学校11校中、5校で教師が授業内容や子どもの学びについて積極的に意見交換をするようになった(56%達成)。 • 子どもが授業に参加する機会を増やした教師の割合:小学校教師全268人のうちライチャウ省で50%(63%達成)、コントウム省で61%(7

	<p>6%達成)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ベトナム語授業の内容を改善した教師の割合: 幼稚園・小学校教師: ライチャウ省で50%(63%達成)、コントウム省で49%(61%達成)。週に3冊以上の児童図書の読み聞かせを行う幼稚園教師の割合: 全139人のうちライチャウ省で45%(56%達成)、コントウム省で68%(85%達成)。 読書推進活動を実施した学校数: 小学校11校中11校(100%達成)。 <p>2) 学校を支援する地域ネットワークづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育推進活動を行った委員会メンバー数: 285人(95%達成) <p>3) 子どもにやさしい教育環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全な教室で授業を受ける子どもの数: 第1期対象3校で124人(113%達成) 学校で適切な衛生設備を使う子どもの数: 第1期対象3校で124人(92%達成) 学校図書を活用する子どもの割合: 週に1冊以上の児童用図書を読む小学校児童数はライチャウ省で70%(100%達成)、コントウム省で68%(97%達成)。 <p>上記の成果は、「持続可能な開発目標(SDGs)」の目標4、ターゲット4.1、4.2の達成に寄与する。</p>
(4) 持続発展性	<p>当事業では、事業終了後も効果が継続して維持されるよう、次のように事業を実施した。</p> <p>1. 教育環境の整備</p> <p>当事業で支援した教室・衛生給水設備、教室資機材の維持管理は、学校およびコミューンと郡の人民委員会が担うことを、施設の引き渡しの書面にて署名を取り交わした。日常的な維持や軽微な修繕は学校が担い、各校の一定予算枠を超える規模の修繕には、人民委員会が対応することとなる。また、支給した図書の維持管理については、読書推進トレーニングで指導した。</p> <p>2. 教師や保護者の能力強化</p> <p>本事業では各省の教師代表者や教育訓練局職員からなるコアチームが初めにトレーニングに参加し、そこで習得したスキルや知識を各校の教師を対</p>

	<p>象にした現地トレーニングで広める方式を取った。当団体はコアチームの能力向上と、彼らの各校における指導の支援を通じて、継続的な教師間の学びあいが可能となることを目指している。また、事業終了後も継続的な活動実施がなされるよう、教師間の学びあいのガイドラインを2年次に作成するにあたり、1年次では同ガイドライン作成に要する情報収集ツールを作成した。</p>
--	--